

* 他人事ではない「認知症」 *

最近、新聞やテレビでよく聞くワード、「認知症」！！
以前は、「呆け」や「痴呆」と言われていましたが、
現在、この言葉は使われていません。

「認知症」は「**病気**」であって、
単なる「もの忘れ」や「年のせい」ではないんです！
今回は、「認知症によるもの忘れ」と「加齢によるもの忘れ」の違い
についてご紹介します☆



認知症によるもの忘れ

- 体験全体を忘れる
- 新しい出来事を記憶できない
- ヒントを与られても思い出せない
- 時間や場所などの見当がつかない
- **日常生活に支障がある**
- もの忘れに対して自覚がない

加齢によるもの忘れ

- 体験の一部を忘れる
- ヒントを与られると思い出せる
- 時間や場所など見当がつく
- **日常生活に支障はない**
- もの忘れに対して自覚がある



「認知症によるもの忘れ」と「加齢によるもの忘れ」を
比べてみると全然違うんだね！

介護保険の目的は「自立支援」です！！

介護保険は、サービスを使うことによって、高齢者のみなさんが
「**元気！**」になることを応援するものです！

「**介護保険にお世話になる**」のではなく、

「**介護保険をつかって元気になる！**」を合言葉に、

いつまでも住み慣れた自宅で生活できるようにしましょう♪



* かけがえのない地域づくり *

介護保険のサービスの導入によって住民同士の
つながりが切れてしまうことがあります。



これからは、住民が中心となって介護保険に代わる新たな支援をつく
って高齢者を支えましょう！とも言われています。介護保険で支援する
人を「**縦糸**」とすれば、地域のつながりで支えていく人を「**横糸**」とし
て、できるだけ隙間をつくらずに地域の中で暮らしていくことを目指そ
うというのがこれからの地域づくりの考え方です。



地域の自然な形での支え合い

日常の暮らしを意識化することによって、無いと思っていた資源が、自分の地域
にも存在することに気づくこともしばしばあります。この自然な形での「支え合
いの価値」に気づくことで、自分の住んでいる地域に誇りを持てるようになります。

串間にあっというね！



地域にあっというね！と思うものは、すでに住民のみなさんも気づいている
ことが多いと思います。まずは、できている活動から考えて**あっというね**
という活動に取り組むきっかけづくりと一緒に考えてみませんか？

その活動が、まさに**地域づくり**につながります♪

【ご連絡先】串間市社会福祉協議会 TEL 72--6943
生活支援コーディネーター（担当 鍋倉）

